



小金井 2015.7/1 No.447 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

起きます！起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！僕・私！
仲間へのメッセージを、
この場所で！！

魅力ある公民館の情報を満載 月刊こうみんかん

公民館広報誌紙の発行は

小金井の公民館は昭和28年に創設され、その2年後、昭和30年に小金井町公民館報が発行されました。当時、市民も交えた編集会議が行われたようです。

その後、昭和44年から公民館独自の広報として「社会教育だより」（現在の市報と同じ大きさで2～4頁だて）7号までが発行されましたが、8号からは市報こがねの最終ページに掲載されることになりました。

市報こがねに掲載する社会教育だよりは公民館だけでなく、当時の社会教育課、図書館、青少年センター、社会体育の共同編集であったため、紙面の関係上、お知らせ記事のみの掲載という悩みもあり、それぞれの機関でも広報紙を発行したい要望がありました。

それを受け、公民館では、昭和51年に手作り「季刊こうみんかん」を発行し、公民館利用者等に配布を始めました。



昭和53年6月から毎月定期発行して継続していきこうと「月刊こうみんかん」（B4版2頁）を発行。現在はA4版4頁だての月刊紙として発行しています。

月刊こうみんかん編集会議

現在、公民館職員7名と市民編集委員3名で編集しています。編集会議は月1回、第3火曜日の午後1時30分から概ね1時間程、市民編集委員による次号の最終校正や次々号の編集方針の確認、また2か月先の号の方向性を決めることを主に行っています。

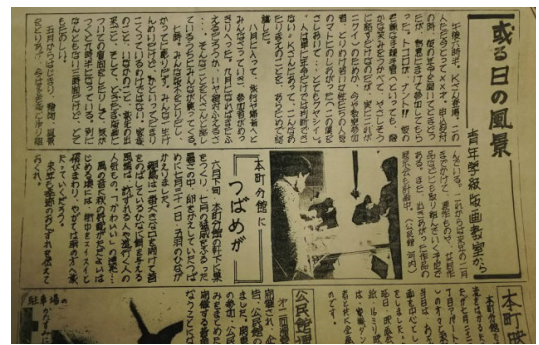
市民編集委員が関わったのは平成21年6月から、市の市民協働理念からによるものです。

市民の方の目線、職員だけでは得られない地域の話題等を提供して頂き、より多くの方に読んでいただく情報紙となるよう日々、研鑽しています。



月刊こうみんかん記事の今昔

昭和53年6月1日号（創刊）では、まだ、ワープロが普及していないこともあって全て手書きでした。



当時の記事内容として、「夏だ、家族ぐるみで今年はどこへ」と題して秋川溪谷キャンプ場の紹介、国際児童年記念として「保育園児を招待してじゃがいも掘り一菜園教室・収穫祭」、元気いっぱいの子供たちの写真も掲載、「本音で語れる高校生の夕べ」や第1回青年文化講演会「不滅のザ・ビートルズー湯川れい子と共に」のレポート記事など、若者が集える公民館を強く意識していることが読み取れました。

現在では地域との繋がりを重視し、地域の話題を1面で各館が担当しています。

どこに配布されているの？

現在、市内町内会、自治会へ配布し、回覧していただいています。

回覧ではゆっくり読めないというお声を頂いています。が市内6館の公民館窓口その他、東京学芸大学、郵便局本局、宮地楽器ホール（市民交流センター）、保健センター、図書館等に配布しています。

是非ご利用ください。

また、小金井市ホームページでは、カラーで見ることができます。

小金井市ホームページ「各課のページはこちらから」→「公民館」→「資料」→「月刊こうみんかん」

「月刊こうみんかん」市民編集委員募集

次回の編集会議は7月21日（火）13時30分～本館

- まちの話題を紙面づくりに反映して欲しい！
- このまちのことが知りたい！

興味のある皆様の参加をお待ちしています。

まつり報告 第32回 貫井南センターまつり 実施 5月9日(土)～10日(日)

GW明けた最初の土日である5月9日・10日に第32回貫井南センターまつりが開催されました。

9日の朝は曇り空のち、いささか強めのわか雨、設営を行いながら今年は悪天候でのおまつりになるかと危ぶまれましたが、10時の開会式にはすっかり晴れて、三年連続でお願いしている東京学芸大学のクラシックギターサークルのオープニングセレモニーは、例年以上のお客さんの参加がありました。

センター駐車場・駐輪場では4月に今年度も開講した「成人学校江戸野菜に親しもう」による朝一番に収穫した野菜の販売、国際交流サロンによるチャリティーバザーを行いました。

センターの1階集会室では公民館を利用しているぬくい会茶道部にお渡し「お茶席」を開催しました。日ごろ南センターを利用するサークルの展示、写真・書道・絵画などを2階で見学した後の一服、おもてなしのひと時を過ごしてもらうことができました。

今回センターまつりで行った特別イベントは、小金井市内で活動している琉球三線教室の皆さんと沖縄から来られたプロの踊りの先生方、総勢16名による「琉球三線とおどり」。

当日は市内市外多くの観客で賑わい、沖縄出身で楽しみにしてくださった方や多くの方々が実際に見る沖縄の色鮮やかな衣装と踊り、三線の音色と歌声に時を忘れ熱中しました。

素敵な音色と洗練された踊りに遠い沖縄を身近に感じることができたのではないかと思います。



成人学校

「植物観察 八千穂高原」 貫井南分館

八千穂高原自然園(長野県南佐久郡)を散策します。

さまざまに生育する植物を観察しましょう。

とき 7月28日(火) 雨天実施

集合場所・時間 公民館貫井南分館

午前8時出発～午後5時同所解散

講師 大菅文雄さん(自然観察指導員)

対象 山麓の路を2時間程度歩ける市民の方
(在勤・在学可)

定員 20人(多数の場合抽選) 参加費 200円(入園料)

その他 弁当・雨具持参

服装は、動きやすく、歩きやすい靴

申込 7月13日(必着)までに往復はがきに住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を明記し、公民館貫井南分館植物観察係(〒184-0014 貫井南町4-3-23

☎042-383-1168)へ。

まつり報告 第14回 福祉会館まつり 実施 5月16日(土)～17日(日)

5月16日(土)・17日(日)の2日間、福祉会館において第14回福祉会館まつりが開催されました。

初日の午前中小雨が降ったものの、その後は良い天気にも恵まれました。

今年は出店、イベント、展示の各部門合計38団体が参加しました。屋外テントや1階入口では焼そば、赤飯、わたあめ、ポップコーン、焼き菓子、手工芸品等の販売が行われ、2階では歌、合唱、踊り、フラ、ハーモニカ、篠笛、オーケストラ、カントリー演奏等のイベントが行われました。1階ギャラリーと3階では福祉会館で活動しているサークルや団体による展示発表が行われました。

公民館では記念イベントとしてHTY Jazz Trioの皆さんによる「アフタヌーン・ジャズ・ライブ」を開催しました。Moanin'、Take Five、ムーンライトセレナーデ、A列車で行こう等、50年代のスタンダードジャズを中心に、サクソ、ピアノ、ベースによる心地よいサウンドが館内に響き渡り、約40人の観客を魅了しました。

昨年に比べ、土曜、日曜とも人の出が少なかったとの声も聞かれましたが、年に一度のおまつりに来場者だけでなく、各団体もそれぞれが楽しみながら参加している様子でした。



若者コーナー 進路就活講座 貫井北分館 「『働く』ってなんですか? 若者にとって働く意味」

「働きたくても働けない」、「働き続けられない」など、若者の自立が難しい社会の「しくみ」について理解を深めませんか。若者と社会をつなぐサポートについてもご紹介いたします。

とき 7月11日(土) 午後2時～4時

ところ 公民館貫井北分館 学習室A・B

講師 藪田 香さん

(認定特定非営利活動法人育て上げネット)

定員 40人(申込順)

対象 中学生以上の方ならどなたでもお申込みいただけます。

参加費 無料

申込 7月1日から電話、Eメールまたは直接、公民館貫井北分館(貫井北町1-11-12 ☎042-385-3401 ✉k020415@bz04.plala.or.jp)へ。

まつり報告 第34回 本町分館まつり 実施 5月23日(土)～5月24日(日)

今年は予報では天気が心配されましたが、好天のうち
に終了することができました。今回も参加団体が減った
反面、新しい団体が増えて新鮮さも加わりました。しかし、
来館者が減ったのではという声もあり、課題も残り
ました。

参加団体の年齢は高齢化していますが、皆さんとても
エネルギッシュです。展示作品、芸能発表は日頃の成果
を發揮できたようで、どれも好評でした。特にハーモニ
カの演奏は、満員の観客でしたが、集客も自分たちで積
極的に行っているそうです。その姿勢は大変すばらしく
思いました。

二日目の特別イベントは、マリンバ&ギターのコンサ
ートでした。演奏して
いただいたのは、第29
回以来5年ぶりの出演
となるerikuo(エリク
オ)さん。有名なもの
からオリジナルまで、
様々な曲目で楽しませ
てくださいました。



マレットを片手に2
本ずつ持ちながら自在にマリンバを操る姿には目がくぎ
づけになりました。

ご夫婦のデュオなので、演奏だけでなく司会の息もび
ったり。音当てクイズなどもあり、お客さんも楽しんで
いました。

来年は、集客率アップを目指し、参加団体の皆さんと
協力しておまつりを盛り上げていきたいと思えます。

国際交流事業

「住んでみてわかるエクアドル」 本町分館

太平洋を挟んだ隣国であり、変化に富んだ地形、多様
な自然、多彩な伝統行事など魅力浴れるエクアドルの生
活や文化を学んでみませんか。

とき 7月10日(金) 午前10時～正午

ところ 公民館本町分館

講師 森野 謙さん(元JICAシニア海外ボランティア)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 30人(申込順) 参加費 無料

申込 6月17日から電話または直接、公民館本町分館
(☎042-383-1170)へ。

「陶芸入門教室 一偶然の美」 貫井北分館

陶芸をやってみたいと思っている若者の方、夏休みに
陶芸の基礎から学び、創造の喜びを味わってみませんか。

とき 7月30日(木)・31日(金)、8月6日(木)・7日(金)、
20日(木)・27日(木) 午前10時～正午(全6回)

講師 東田茂正さん(陶芸家)

対象 市内在住・在学・在勤の中学生～25歳くらいま
での原則全日程参加できる方

定員 16人(申込順) 参加費 1,000円(材料代)

申込 7月1日から電話かメールまたは直接、公民館
貫井北分館(☎042-385-3401
✉k020415@bz04.plala.or.jp)へ。

小金井チャレンジデー 2015 結果報告 VS 鹿児島県霧島市

チャレンジデーとは日本全国で行われる「運動の日」
のことで、当日午前0時から午
後9時までの間に、15分以上運
動やスポーツで身体活動を行っ
た住民の数(参加率)をほぼ同
じ人口の自治体と競い合う住民
総参加型イベントです。



5月27日(水)実施した「小金
井チャレンジデー 2015」の参加
者数及び参加率の結果は、以下
のとおりでした。

小金井市 88,278人 (75.2%)

今年度参加したのは全国69市48町13村の130自治体。
東京都からは小金井市、昭島市、狛江市が参加しました。

今年の小金井市(人口117,440人)の対戦相手は、鹿児
島県霧島市(人口127,658人)、共に二回目の参加団体。

27日は全国的に真夏日となり、遠く900キロ離れた霧
島市と熱い戦いになりました。

今年の霧島市の成績は103,050人 (80.7%)

小金井市は残念ながら霧島市を上回ることができませ
んでした。この結果を受け、市役所本庁舎メインホール
には霧島市の健闘を称え、霧島市旗を一週間掲揚するこ
とになりました。

勝利することはできませんでしたが、昨年の約3万人
(25.9%)を大きく超える多くの市民の参加を得ることが
でき、参加率50%以上の自治体に送られる金メダルを獲
得しました。

来年も是非皆さんご参加ください。

若者コーナー 「出会いは学び 『きたまちスクール』」 貫井北分館

学校や学年を超えたさまざ
まな参加者と、学校や塾とは
違う学びを楽しみませんか。

参加者同士のチーム力を高
めるためのワークショップも
体験します。



とき 7月25日(土)、8月3日(月)

いずれも午前10時～午後3時(全2回)

ところ 公民館貫井北分館 学習室C・D

講師 坂本史生さん(東京学芸大こども未来研究所主
任研究員) 小峰直史さん(専修大学教授)

対象 市内在住・在勤・在学の中学生以上25歳位ま
での方



定員 20人(申込順) 持ち物 昼食

その他 受講者は、文部科学省委託事業「青少年体験活
動奨励制度」に参加できます。

申込 7月1日から電話、Eメールまたは直接、公民
館貫井北分館(☎042-
385-3401 ✉k020415@bz04.plala.or.jp)へ。

◆ 7月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館	公民館貫井北分館
中町 4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町 2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町 4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町 1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町 3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300	貫井北町 1-11-12 ☎ 042-385-3401 FAX 042-385-3402
☆市民映画会 ☆子ども体験講座 「夏休みこども料理教室」 市報 7月1日号に詳細	☆市民講座 「元気な歌声で小金井を明るくしよう」 市報 7月15日号に詳細	☆成人学校 「植物観察 八千穂高原」 市報 7月1日号に詳細			☆若者コーナー きたまち“和”体験 一もつと気軽に“ゆかた”を楽しむー 市報 7月1日号に詳細

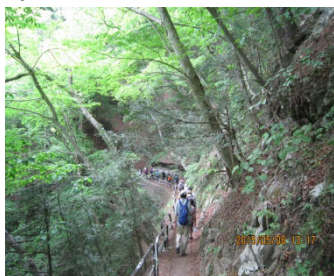
成人学校 報告

「むかしみちを歩く ～奥多摩むかしみち」 東分館

東分館では5月8日に成人学校「むかしみちを歩く～奥多摩むかしみち～」を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、15名の参加者が集まりました。この講座は、平成20年度から実施し、いろいろな「むかしみち」を歩いてきました。今回は初心にもどり開催当初と同様のルートにしました。

本来、全行程は奥多摩駅から奥多摩湖までが「奥多摩むかしみち」と呼ばれるルートですが、時間と距離を考え、ほぼ中間地点の橋詰バス停付近までマイクロバスで向かい、そこから徒歩で奥多摩湖まで約7kmの行程でした。



まず歩く前に準備体操を行い、西久保の折り返し地点までは川沿いの平坦な遊歩道を歩きました。点在する白鬚神社、耳神様など、受講生は講師の解説に感心していました。

昼食後、標高差540mあるゴールの奥多摩湖まで起伏の激しいところもありましたが、視界に電線が1本も入らない奥多摩湖の絶景を眺めることもできました。



また生活道として欠かせなかった時代をふり返れたのではと思います。

【参加者の感想】

天候にもめぐまれ良い一日を過ごさせていただきました。奥多摩は家内と車でよく行くところですが、「むかしみち」は初めての経験でした。奥多摩駅から歩くかと思いましたが、橋詰からなので距離的には半分、それでも1万4千歩近くの心地良い運動でした。マイクロバスの送迎、ガイド氏の説明等至れり尽くせりでした。このような機会があれば、又是非参加させていただきたいと思います。

スタッフの皆様もご苦労様でした。

サークル紹介

「バランスビューティー」 緑分館

私たちのサークルでは、「周産期の女性の健康の回復と増進」のためのプログラムを行っています。



考える力は、体力と比例しています。

産後は、まずは消耗したカラダを整え、体力をつけるリハビリから取り組む必要があります。

産後のあわただしい生活の中で体調も悪く、うっかり自尊心を失われてしまいそうな時に、産後のからだや、運動について正しい知識やケアの方法を学び実践することで、その人が持っている本来の力を発揮できるようになると思います。

月2回、緑センターで「バランスビューティー」クラスをしています。お子様と一緒にご参加いただけますのでお気軽にいらしてください。

活動日 原則月2回 水曜日又は木曜日
午前10時～11時30分

場 所 緑分館 会 費 2000円/回

連絡先 竹内恵津子 (☎090-9386-2612)

●人事異動●

公民館本館 苫本 孝文 (主事)

これからよろしくお願ひします

ITサポートセンター こがねいパソコン相談室

パソコンに関する相談をお気軽にご相談ください。

開催時間 毎週日曜日と水曜日の午後1時～3時

開催場所 公民館本館・貫井南分館・本町分館・東分館
緑分館・貫井北分館

費用 無料 対象 市内在住・在勤・在学の方

問合先 公民館本館 (☎042-383-1184)